

帰依住職の
イッペー

チビラーサン

▶1

—沖縄の年中行事—

ハイサイ！ みんなは、
お家のお仏壇やお墓のお掃除を手伝つたことある？

今日は、沖縄の七夕についてのお話。実は私たちの沖縄では、彦星さまと織り姫さまの七夕（新暦の七夕）とは別に、もう一つ、旧暦の七夕があるんだ。今年は新暦7月31日にあたります。

沖縄の七夕では、お墓の

掃除などをします。昔から「七夕は日なし」という言

界が休日になる日とともに考えられていて、お仏壇やお墓をきれいにすると、「亡くなられた人たちがとても喜んで下さるとも言われてい

る」。ソケー・ウーラーと呼ばれるお盆と同じように、七夕

るんだ。イッペー チビラーサン（とても素晴らしい）と元気な男の子。私が「昔から沖縄の多くの地域では、お仏壇のお掃除をするとき、海水や塩水を使うんだって」。男の子、「ああさー、それって、よけいに汚れるんじゃないの？」だって、海水浴

の後には、シャンプーとリ rinsesするさーね」。よほどシャンプーとリ rinsesが大好きなんだね。

まあまあ、細かいことはどうであれ、小学生のみんなには、こうやって沖縄の年中行事にふれながら、人間が亡くなつても、その尊いのちは人の心に生き続けていく、そんな「いのちの大切さ」を知つてもらいたいなーと思つています。

お墓や仏壇をピカピカに

葉があつて、七夕は良い日でも悪い日でもない特別な日だと考えられているんだ。つまり、難しい日程の決まりごとが多いお仏壇やお墓のことが簡単にできちゃつたりするわけ。



新暦：日本では歴史の新しい、太陽のカレンダー（暦のこと）。



帰依龍照（きえ・りゅうしょく） 1968年、岡山県生まれ。沖縄市・球陽寺（きゅうようじ＝旧コザ本願寺）住職。タイムスカルチャーセンター「基礎から学ぶ沖縄の年中行事」講師